

関西電力の電気料金再値上げ認可申請に関する追加質問事項

2月27日時点

【2月20日の調査会において、回答保留としたもの】

- ① 関西電力提出資料3-1の36ページ【HP上に掲載される経営効率化に関する情報提供（経営概況と経営効率化資料の差異）】について、申請資料と経営概況の数値との差異と、差異が発生した理由について費目別に分かるよう、データで示していただきたい。

（回答）

別紙1を参照

- ② 関西電力提出資料3-1の15ページ【諸経費等（研究費）】について、どのような研究を行っているか具体的に内訳を示すとともに、なぜその研究が必要なのか、わかるように説明していただきたい。

（回答）

別紙2を参照

以上

【HP上に掲載される経営効率化に関する情報提供（経営概況と経営効率化資料の差異）】

○平成26年7月に公表した経営概況における25年度効率化額は2,533億円であり、今回公表した1,833億円とは異なっておりますが、今回は、持続可能な効率化額のみを公表し、繰延べ分は含めていないことなどから、差が生じております。

＜公表値の比較＞

(単位：億円)

	今回 公表値	H26.7 公表値	差分	備考
人件費	373	356	17	査定項目に対応する効率化額の追加
燃料費・購入電力料	445	417	28	査定項目に対応する効率化額の追加
設備投資関連費用	98	60	38	査定項目に対応する効率化額の追加 繰延べ影響
修繕費	470	910	▲440	繰延べ影響
諸経費等	446	790	▲344	繰延べ影響
合計	1,833	2,533	▲700	

【諸経費等（研究費）】

- 研究費については、電力の安定供給や研究成果活用による費用対効果等といった観点から実施の優先度を考慮し、研究件名を厳選しております。
- 具体的には、安全・安定供給に貢献する事業基盤を堅持するための研究開発、お客さまの節電・省エネルギー、需要抑制に資する研究開発、再生可能エネルギーの積極的導入を図るための研究開発など、お客さまのご期待に沿うための研究開発を重点課題として、事業運営上必要な研究課題を着実に推進しております。

<主な研究内容>

	主な研究内容	研究の必要性（事業運営上の効果）
水 力	水力発電設備の劣化診断技術開発	設備補修時期および範囲の最適化による修繕費の低減
火 力	火力発電設備の劣化診断技術開発	設備補修時期および範囲の最適化による修繕費の低減
原 子 力	加圧水型軽水炉の応力腐食割れに関する研究	設備健全性評価精度の更なる向上による原子力発電所の供給信頼度確保
新 工 ネ	太陽光発電設備の運用保守技術開発	太陽光発電設備の運用保守費用の低減
送 電	地中・架空送電設備の劣化診断技術開発	設備補修時期および範囲の最適化による修繕費の低減
変 電	変電設備の劣化診断技術開発	設備補修時期および範囲の最適化による修繕費の低減
配 電	新計量システムの開発	検針業務の効率化による検針費用の低減
給 電	太陽光発電の系統連系に対応する系統安定化対策技術の開発	太陽光発電の導入拡大時の電力品質維持
販 売	一般家庭向け節電・省エネ、需要抑制のためのEMS開発	電力需給の安定化や省エネ・節電促進による供給信頼度確保
一般管理	土木建築構造物の耐震評価、津波対策技術研究	地震・津波対策の更なる向上による電力供給設備の供給信頼度確保